

# 助動詞 標準

空欄に適する語句を選びなさい。

- We couldn't [            ] wondering if Jane will come on time.

(-)

- ① without [校正用: false]
- ② also [校正用: false]
- ③ help [校正用: true]
- ④ but [校正用: false]

解答：③

## 【設問の解説】

「私たちはジェーンが時間どおりにくるかどうか気になってしかたがなかった。」

cannot [ can't ] help doing 「～せざるを得ない」は、助動詞を使った慣用表現。このhelpは「～を避ける」という意味で、あとに動名詞がつづくことに注意。「～することを避けられない」＝「～せざるを得ない／～しないではいられない」という意味になる。

なお、cannot[can't]を使った類似表現がいくつかあるので整理しておこう。

cannot[can't] help doing 「～せざるを得ない」

= cannot [ can't ] help but do

= cannot [ can't ] but do

空欄に適する語句を選びなさい。

- We [            ] climb such high mountains in winter.

(-)

- ① not had better [校正用: false]
- ② had not better to [校正用: false]

- ③ had better not [校正用: true]
- ④ had not better [校正用: false]

解答：③

【設問の解説】

「冬にそんな高い山に登らないほうがいい。」

had better do「～したほうがよい」の否定形は notをおく位置に注意。had betterを助動詞のかたまりと考えて、直後にnotをつけ、had better not do「～しないほうがよい」という形になる。

2つの英文がほぼ同じ意味になるように、空欄に

適する語句を選びなさい。

- (a) Kate has good reason to be proud of her mother.
- (b) Kate may [            ] be proud of her mother.

(－)

- ① well [校正用: true]
- ② much [校正用: false]
- ③ too [校正用: false]
- ④ so [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「ケイトが母を誇りに思うのはもっともだ。」

may [ might ] well doは助動詞を使った慣用表現で、2つの意味を表す。

- ・「おそらく～するだろう」
- ・「～するのはもっともだ」

本問は、(a)のhave good reason to do「～するもっともな理由がある」という表現に注目する。

空欄に適する語句を選びなさい。

- It's necessary that food and clothing [       ] sent to the victims.

(-)

- ① being [校正用: false]
- ② were [校正用: false]
- ③ is [校正用: false]
- ④ be [校正用: true]

解答 : ③

【設問の解説】

「食料や衣類は被災者に送られる必要がある。」

〈It is + 形容詞 + that S V ~〉「～するのは...だ」という文で、necessaryのような **必要・要求** を表す形容詞が入るときは、that節のなかは原則的に 〈S ( **should** ) + **原形** 〉という形にする。shouldを省略して 〈S + **原形** 〉という形になることもあり、本問はshouldが省略されてfood and clothing be sent ... となる。なお、〈It was + 形容詞 + that S V ~〉という過去の文で合っても、〈S ( **should** ) + **原形** 〉や 〈S + **原形** 〉の形は変わらないことにも注意。

**正解選択肢と「解答 : 」の次の文字が一致しません**

空欄に適する語句を選びなさい。

- It is strange that my brother [       ] do such a foolish thing.

(-)

- ① should not [校正用: false]
- ② should [校正用: true]
- ③ ought to [校正用: false]
- ④ could not [校正用: false]

解答：②

【設問の解説】

「兄がそんなばかげたことをするなんて変だ。」

〈It is + 形容詞 + that S V 〜〉「〜するのは...だ」という文で、strangeのような **判断・感情** を表す形容詞が入るときは、that節のなかには原則的に〈S (should) + 原形〉という形にする。shouldを省略して〈S + 原形〉という形になることもある。

なお、〈It was + 形容詞 + that S V 〜〉という過去の文で合っても、〈S (should) + 原形〉や〈S + 原形〉の形は変わらないことに注意。

空欄に適する語句を選びなさい。

- Tom [            ] come here unless it is necessary.

(-)

- ① don't have to [校正用: false]
- ② doesn't need [校正用: false]
- ③ need not [校正用: true]
- ④ not to need to [校正用: false]

解答：③

【設問の解説】

「必要でないならトムはここに来る必要はない。」

助動詞 **need** は、原則として **否定文** または **疑問文** で使われる。

**need not** [ **needn't** ] do〜「〜する必要はない」

**Need** S do〜? 「Sは〜する必要がありますか」

一般動詞needとの用法のちがいに注意。②のように一般動詞として使う場合は、目的語として不定詞をつづけてneed to do「〜する必要がある」という形になる。

空欄に適する語句を選びなさい。

- Jack left home thirty minutes ago, so he [ ] at the office by now.

(－)

- ① would have arrived [校正用: false]
- ② might have arrived [校正用: false]
- ③ ought to have arrived [校正用: true]
- ④ must have arrived [校正用: false]

解答：④

【設問の解説】

「ジャックは30分前に家を出たのだから、今ごろはもう会社に着いているはずだ。」

should [ ought to ] have done には「～すべきだったのに（実際にはしなかった）」という意味のほかに「（今ごろは）～して（しまつて）いるはずだ」という意味がある。文末の by now 「今ごろはもう」に注目。

①②④はいずれも過去の事柄に対する推量を表すので不適切。

**正解選択肢と「解答：」の次の文字が一致しません**

空欄に適する語句を選びなさい。

- It was unlike Emily to get so angry. She [ ] the point of my joke.

(－)

- ① might miss [校正用: false]
- ② needed to miss [校正用: false]
- ③ may have missed [校正用: true]
- ④ must have been missed [校正用: false]

解答：④

【設問の解説】

「あんなに怒るなんてエミリーらしくなかつ

た。彼女は私のジョークがわからなかったのかもしれない。」

1 文目にIt was unlike Emilyとあるので、過去の内容を述べていることがわかる。 **may [ might ] have done** 「～だったかもしれない／～したかもしれない」であれば文意に合う。

①は現在や未来の推量を表すので不適切。

**miss the point** 「要点がわからない」

**正解選択肢と「解答：」の次の文字が一致しません**

ここに参考書リンクが入ります